

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

13人が技能検定合格

田辺工業高 教諭は1級取得

田辺市あけぼのの田辺工業高校機械科から、本年度前期の技能検定3級に13人が合格した。教諭では立花昌史さん(43)が機械加工普通旋盤作業1級に合格。同校によると、県内にある高校の教員では同一級の合格は初めてという。

生徒が合格したのは機械加工、フライス盤作業、機械加工普通旋盤作業、機械系保全体業の各3級。学科や実技は7、8月に同校などであり、学科は機械全般や各作業の専門知識が問われた。実技では機械加工はそれぞれフライス盤や旋盤で課題通りに鋼を加工、機械保全体は工具や測定器の用途、ねじ部品の特徴などを判定した。

立花教諭は昨年に続く2度目の受検で合格し「時間の短縮を考え、工夫して練習をしてきた。生徒の指導に生かしていきたい」と話した。県職業能力開発協会によると、技能検定1級は教員の受検自体ほとんどないという。



立花昌史教諭

機械系保全体業に合格した3年生の大仲絢君(18)は「仕事に役立つと思って初めて技能検定を受けた。自信にもつながった」と話した。合格した同校の生徒は次の皆さん。

機械加工フライス盤作業3級 田尾隼人(3年)、本田朔也(同) △機械加工普通旋盤



技能検定に合格した生徒

(2年)▽機械系保全体業3級 坂田出雲(1年)、大澤晴輝、中村隆聖、松本啓太、山本龍哉(以上、2年)、大仲絢(3年)

盤作業3級 岡本光、田中奎祐、宮前稜太郎、米澤知晃(以上、1年)、上地浩士郎